

とよたの未来を
考えよう！

豊田市都心地区空間デザインをかんがえる。

カスタマイズとよた！

市民ワークショップ キックオフ

日時：5月15日(日) 開場：9:40

開始：10:00

場所：とよた参合館 6階多目的ホール

プログラム

10:00 ご挨拶・主旨説明

10:10 「あそべるとよたプロジェクト」活動報告

10:20 駅前空間デザインプロポーザル提案発表

10:40 - 休憩 -

10:45 ワークショップ 説明

10:55 ワークショップ (45分)

11:40 - 休憩 -

11:50 グループ発表

12:20 座長よりコメント

12:35 終了のご挨拶



あそべるとよたプロジェクト

2016年5月15日
カスタマイズとよた！
市民WSキックオフ

1. あそべるとよたプロジェクトとは？

(1) あそべるとよたプロジェクトの目的

みんなでアイデアを持ち寄って、まちをもっと面白く
とよたのまちなかを本気であそぶ、つかいこなす！

あそべるとよたプロジェクトは「都心環境計画」の一環として、豊田市駅周辺の開けた空間“まちなかの広場”を、“人”的活動やくつろぎの場として開放し、さらにはとよたの魅力を伝え、とよたに愛着を持つる場所として、使いこなしていく取組です。

現在は日常的なぎわいが少なく、発表の場として使うことも難しい、まちなかの広場。そんな場所で、市民・企業・行政が一体となってアイデアを出し合い、みんなの“やってみたい”ことを実現しながら、より使いやすい広場に生まれ変わるために継続的なしきみを創っていきます。



(2) あそべるとよた推進協議会について

あそべるとよたプロジェクトの主催者である「あそべるとよた推進協議会」は、官と民の広場管理者などが構成員となり、まちなかの広場の活用やその仕組みづくりを推進する組織です。

[構成]

- ・豊田市駅前開発(株)・豊田市駅前通り南開発(株)・豊田市駅東開発(株)・豊田まちづくり(株)
- ・豊田市中心市街地活性化協議会 TCCM
- ・崇化館地区区長会
- ・豊田市(公園課、商業観光課、土木管理課、都市整備課(事務局))

(3) あそべるとよたプロジェクト ロゴに込めた想い

きらきらとひかり輝いているとよたのミライを表現しつつ、ひとつひとつは人に見立てた12個のパーツになっています。まんなかがぽっかりあいたロゴはまちなかの広場をイメージし、12個のパーツは12ヶ月、まちなかの広場が1年中いつも人があつまり、様々な活動が行われ、楽しめる場所になってほしいという想いをこめました。

豊田市の花、ひまわりにも見えるデザインです。



2. あそべるとよたDAYSを開催しました！

まちなかの広場活用の実践期間として昨年度の秋の1か月間「あそべるとよたDAYS」を開催しました。

(1)開催概要

①開催目的

今まで使うことが難しかった、管理者も運用ルールも異なる計9つの広場空間(5つの行政の広場(道路空間3、公園1、行政敷地1)と4つの民間の広場)を、一体的に使いこなす試みです。

将来、まちなかの広場の自律的な運営を図っていく為の担い手や財源や仕組みを検証していきます。

②開催期間

平成27年10月9日(金)～11月7日(土) (30日間)
(コア期間: 11月1日(日)～11月3日(火・祝) (3日間))

③開催までの流れ



④プログラムの実施状況

8つの広場で、31のプログラムが実施されました。

広場名		使える広場コース	つくれる広場コース	計
①新豊田駅前広場	官	3	0	3
②シティプラザ	民	8	1	9
③ペデストリアンデッキ広場	官	4	1	4*
④豊田市駅西口デッキ下	官	2	0	2
⑤ギャザ南広場	民	3	0	3
⑥参合館前広場	民	6	1	7
⑦コモ・スクエアイベント広場	民	1	0	1
⑧喜多町3丁目 ポケットパーク	官	1	0	1
⑨桜城址公園	官	0	0	0
計		28	3	31**

*1 官:使える広場コース(10プログラム)つくれる広場コース(1プログラム)、

民:使える広場コース(18プログラム)つくれる広場コース(2プログラム)

**2 ペデストリアンデッキ広場は、使える広場コースとつくれる広場コースの合同プログラムあり

⑤広場使用料

区分	営利	非営利
日常利用	売り上げの5%	200円/日
コア期間利用	2,000円/日 (1区画 3m×3m)	1,000円/日
その他(スポット利用)	2,000円/日 (1区画 3m×3m)	1,000円/日

⑥広報掲載数

23件(内、外部の取材11件(WEB1、TV2、ラジオ1、新聞3、雑誌4))

⑦主催

あそべるとよた推進協議会準備会

(2) あそべるとよたDAYS 実施までのみちのり

① 養成講座の様子

あそべるとよたDAYSのプログラム実施団体に向けて、プログラム実施までの間、計3回の養成講座を開催しました。

養成講座では、プロジェクトの趣旨説明や国内外の公共空間の活用事例紹介、実施団体同士の交流を行いました。



養成講座

② あそべるとよた推進協議会準備会の様子

あそべるとよた推進協議会準備会では、あそべるとよたDAYSの開催に向けて、広場の活用やその仕組みづくりについて議論を重ね、今回の方針を決めていきました。

広場活用のルールは、その立地により適切な形に変わります。議論を重ね、少しづつ実験を重ねて探っていき、豊田のまちにあった広場活用のルールや仕組みを構築することが、あそべるとよたプロジェクトの目的の1つです。



あそべるとよた推進協議会準備会

(3) プログラム実施の様子

期間中、8つのまちなかの広場で、合計31のプログラムが実施されました。



①新豊田駅前広場
No.3 とよたスケートパーク



②シティプラザ
No.4 根羽村の木の遊具を遊ぼう！



③ペデストリアンデッキ広場
No.16 LENDAストリートフェスティバル



④豊田市駅西口デッキ下
No.18 街中プラネリウム



⑤ギャザ南広場
No.19 豊田の根っ子を伸ばす体操教室



⑥参合館前広場
No.23 BOOK BOOK こんにちは



⑦コモ・スクエアイベント広場
No.30 スカバー!Presents
名古屋ゲンバvsサガン鳥栖戦ハーリックビューキング



⑧喜多町3丁目ポケットパーク
No.31 ブンブン食堂y's

(4) 実施団体・来場者アンケート結果

実施団体、来場者ともに、あそべるとよたDAYSについて、概ね好評な意見を多く頂きました。プロジェクトの継続を望む声も多数頂きました。

実施団体

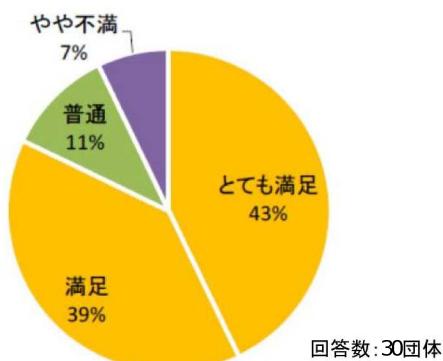
- ・団体のPR・実績となった
- ・お客様の声が直接聞けた
- ・既存設備が不十分、備品を貸し出して欲しい
- ・集客が想像以上に少ないなど

来場者

- ・まちなかに出るきっかけになる
- ・子どもの遊び場ができるなど

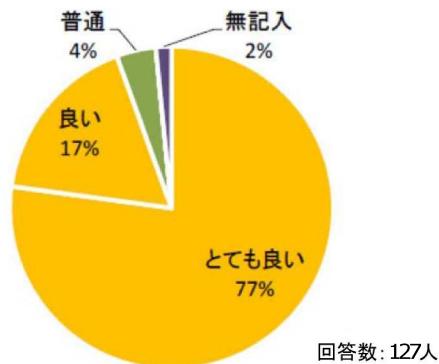
【実施団体アンケート】

Q.プログラムを実施した感想教えてください。



【来場者アンケート】

Q.今回の取組みのようにまちなかの広場を活用することについてどのように思いますか。



(5)あそべるとよたDAYSの成果

- 今まで蓄積された各種イベントのノウハウや課題を継承しつつも、参加者は自らの責任で使いこなす、管理者は官民分け隔てなく空間を市民や企業に開く、という新たな枠組みのプログラムを実践でき、多くの市民や参加者の賛同を得ることができました。
- 一般公募で31のプログラムの応募があったことにより、広場利用のニーズがあることが証明できました。更に、各応募者が広場それぞれで新たなアクティビティを生み出し、使いこなしの担い手やアイディアを蓄積でき、今後のマーケティングの基礎データが得られたとともに、マネジメント側に求められるスキルや作業量などが明らかになりました。
- 来場者参加型のプログラムだけでなく、空間をつくりこむプログラムを長期的に実施したことにより、今まで豊田のまちなかでみられなかった屋外空間に人々が日常的に滞留(休憩、会話など)する風景をうみだすことができました。
- 公共R不動産のWEBサイト掲載、その他多くの広報掲載やまちなかでのPRなど、豊田市において新たな動きが始まっていることを市内外に発信できました。

3. ペデストリアンデッキ広場飲食事業者公募

2015年2月から3月にかけて実施した「ペデストリアンデッキ広場公募事業」によって採択された「〇七商店(マルナショテン)」が約半年間、ペデストリアンデッキ広場における飲食事業・広場運営業務の一部をおこないます。

【〇七商店 店舗詳細】

豊田のまんなか、ペデストリアンデッキでビアガーデンがOPEN！三河黒七輪で焼く三河のジビエをはじめ肉と魚と開放感ある空間でおもいっきりビアガーデン！
お昼は甘味処～CAFE & BEER。

■実施期間：4/26(火)～10/31(月) ※火曜日定休日

■営業時間：11:00～22:00

■事業者：(有)ゾープランニング・大橋園芸の共同運営



【ペデストリアンデッキ広場事業者公募 検証内容】

- ①様々な市民や企業等の利用を促し、日常的なくつろぎ、活動空間を創出する仕組み。
- ②誰にでも開かれた質の高い空間を創造し、維持管理する仕組み。
- ③飲食販売、イベント誘致、協賛獲得等の取組によって財源を確保し、自立した運営ができる仕組み。
- ④日常の清掃管理、他の広場利用者との調整など、公益性の高い役割を担い、まちに還元する仕組み。
- ⑤あそべるとよたプロジェクトの趣旨や公益性を広く伝え、賛同者を増やしていく仕組み。

カスタマイズ とよた!

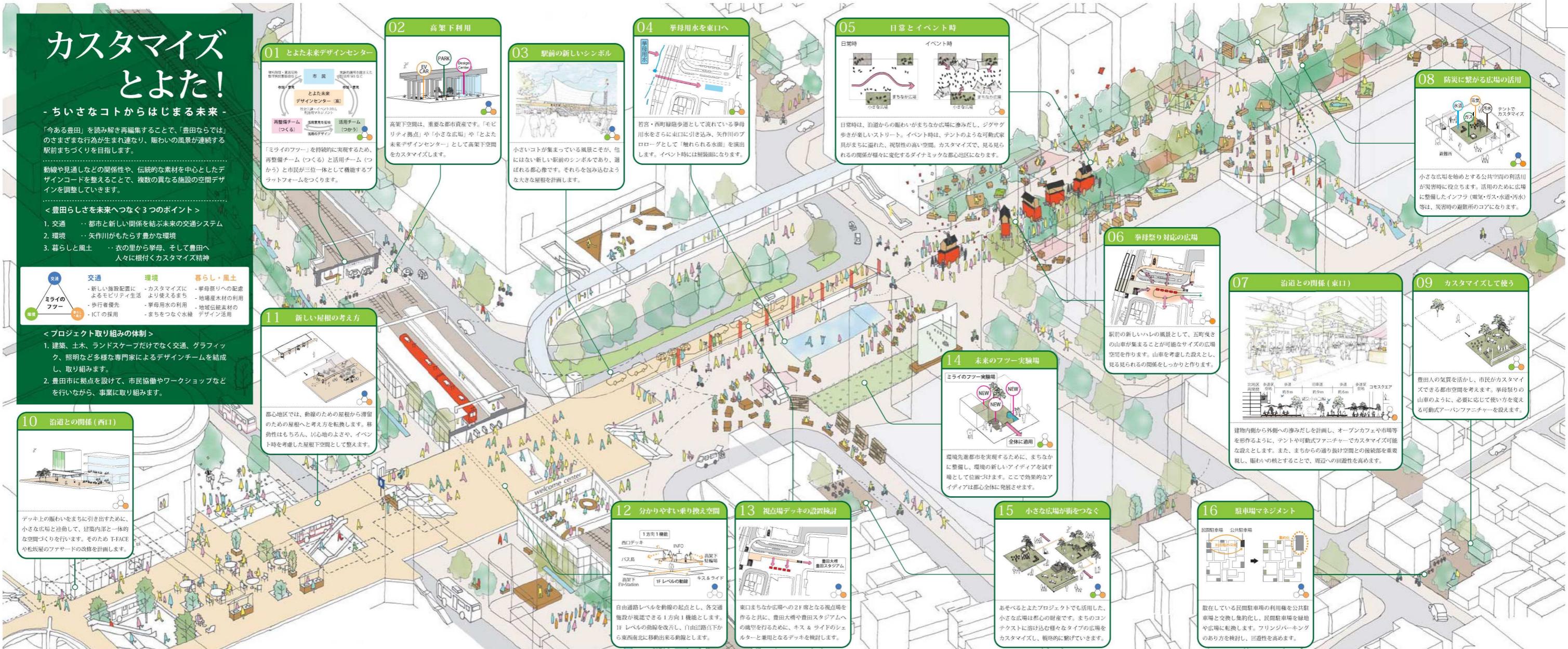
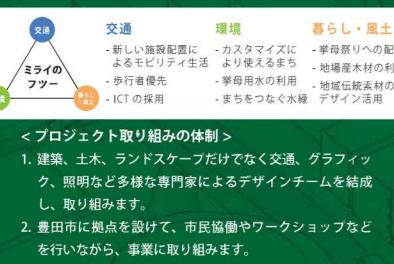
- おひさまコトからはじまる未来

「今ある豊田」を読み解き再編集することで、「豊田なら」のさまざまな行為が生まれ連なり、賑わいの風景が連續駅前まちづくりを目指します。

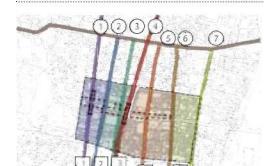
動線や見通しなどの関係性や、伝統的な素材を中心としたデザインコードを整えることで、複数の異なる施設の空間イメージを調整していきます。

～豊田ら！さあ未来へつむく3つのポイント

1. 交通 … 都市と新しい関係を結ぶ未来の交通システム
 2. 環境 … 矢作川がもたらす豊かな環境
 3. 暮らしと風土 … 衣の里から母掌、そして豊田へ
トヨタに根付いたコトノハトコトヅケ



歩行者優先ゾーンのあり方について



豊田市の都心部は、矢作川と直行する2本の幹線道路をつなぐように、鉄道や、かつての商店街といった個性的な7つのタテ路が存在し、街の暮らしを紡いでいます。タテ路との関わりは、中心部のデザインにおいて欠かせない要素だと考えます。

- ① 愛知環状街道 ⑤ 昭和町線
 ② けやき通り ⑥ 竹生線
 ③ 国道 155 号線 ⑦ 国道 153 号線
 ④ 尾張三河線 / 萩原 - 西原 / 鳴良井 - 佐



步行者

- 11



近景



実績のある若手技術者
照明等の専門家や大学と
管理技術者
大藪善久(30)・一级建築士
-建築担当
渡邊京志(45)・一级建築士
-ランドスケープ担当

